

『海』復刻版（全2回配本）

『海洋国家』日本における
海事教育の先駆的雑誌を完全復刻
戦前アジア研究の隠れた素材がよみがえる！

大阪商船株式会社（現・株式会社商船三井）広報誌『海』は関東大震災後の1924（大正13）年7月に創刊された。以後、戦局の逼迫による1943（昭和18）年8月の終刊まで、臨時増刊号を含む計144号が発行された。一海運会社のPR誌でありながら、海事思想の普及を志し、膨脹する帝国、疾走する大大阪を背景に、多彩な執筆陣、豪華なグラビア、斬新なカバーデザイン、現地取材にもとづいた世界各地のレポートによって、モダニズムの時代を牽引した。20世紀前半の大海時代とこの時代に出現した大大阪のエネルギーが凝集して生み出された海事総合雑誌である。

体裁は概ねB5判で各号12〜60頁程度。発行部数は3〜4万部、全国の官庁、中等以上の諸学校、著名青年団、各種同業組合、旅行団その他奉仕団体、著名紳士、海外旅行同好者に無料で寄贈された。与謝野晶子・今道潤三・高群逸枝・山口誓子・佐藤春夫など豪華執筆陣が寄稿し、記事の面白さ、豊富な写真、斬新なデザイン、歴史的価値、いづれをとっても一級史料との評価が高い雑誌である。

【監修・解説】 根川幸男（国際日本文化研究センター機関研究員）
【体 裁】 B5判上製・総7,000頁・全14巻
【予 価】 各回揃本体250,000円＋税 ※各回とも分売不可
第1回配本 ISBN978-4-7601-4943-8
第2回配本 ISBN978-4-7601-4998-8

取
扱
店

配本計画

第1回配本 第1号～第63号(1924年7月～1936年12月)(全7巻) 【2018年4月刊行予定】
第2回配本 第64号～第143号(1937年1月～1943年8月)(全7巻) 【2018年9月刊行予定】

全巻構成

| 〈第1回配本〉 | 〈第2回配本〉 |
|---------------------------------|-------------------------------|
| 第1巻 第1号～第9号(1924年7月～1926年10月) | 第8巻 第64号～第75号(1937年1月～12月) |
| 第2巻 第10号～第17号(1927年1月～1928年10月) | 第9巻 第76号～第87号(1938年1月～12月) |
| 第3巻 第18号～第24号(1929年1月～1930年10月) | 第10巻 第88号～第99号(1939年1月～12月) |
| 第4巻 第25号～第32号(1931年1月～1932年10月) | 第11巻 第100号～第111号(1940年1月～12月) |
| 第5巻 第33号～第40号(1933年1月～1934年10月) | 第12巻 第112号～第123号(1941年1月～12月) |
| 第6巻 第41号～第51号(1935年1月～12月) | 第13巻 第124号～第135号(1942年1月～12月) |
| 第7巻 第52号～第63号(1936年1月～12月) | 第14巻 第136号～第143号(1943年1月～8月) |

おすすめ
します

観光史、海運史、交通史、地政学、海事思想、アジア研究、移民史、メディア史、デザイン史、日本近代史、文学史、大学図書館・公共図書館

柏書房の資料集

昭和戦前期報知新聞附録集成

日曜報知 復刻版 全4回配本

佐藤卓己 解説

B5判上製 各回揃定価(本体210,000円＋税) ※分売不可

雑誌王・野間清治が創刊した新聞附録を完全復刻。満州事変前から日中戦争前まで、昭和戦前期の大衆文化状況を照射する貴重な資料。報知新聞史の空白を埋め、1930年代日本のマスメディア史および文学史の研究に新境地を拓く。

第1回配本 ISBN978-4-7601-4799-1 第3回配本 2018年4月刊行予定
第2回配本 ISBN978-4-7601-4846-2 第4回配本 2018年10月刊行予定

戦前期外地火災保険特殊地図集成

戦前期台湾火災保険特殊地図集成①

——台北・基隆・台中・彰化

戦前期台湾火災保険特殊地図集成②

——台南・嘉義・高雄・屏東・花蓮港

辻原万規彦・青井哲人 編集

A3判上製 各定価(本体100,000円＋税)

保険料率算定のために作製された台湾の火災保険特殊地図を復刻。住居の所有者や建物の構造、名称、用途、道路の幅員や消火栓の位置などが詳細にわかり、かつての市街地の復元や現状との歴史的比較が可能となる。

①ISBN978-4-7601-4951-3 ②ISBN978-4-7601-4952-0

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-15-13
Tel.03-3830-1891 Fax.03-3830-5337
URL <http://www.kashiwashobo.co.jp>
E-mail eigy@kashiwashobo.co.jp

柏書房

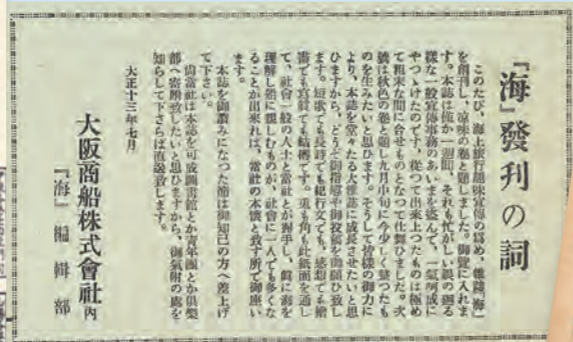
アジアから南米、アフリカまで、世界を股に掛ける通信員が伝える貴重な海外事情

【本資料の特色】

- ◎ 1924年から1943年までの20年にわたり発行された大阪商船の広報誌『海』全144号を全2回配本で復刻。
- ◎ 国際日本文化研究センター所蔵資料を底本として、一部の欠号を補った完全復刻版。これまで揃いで通覧することが困難であった資料に手軽にアクセスできるようになる。
- ◎ 関東大震災で壊滅状態の東京から多くの文化人が関西に活躍の場を移した。震災景気による一時的繁栄とあいまって大阪に文芸隆盛の熱気がみなぎった時代の雰囲気伝える貴重な雑誌。
- ◎ 海事思想の普及を目的とした論説とともに、写真・イラストをふんだんに加えて目を惹くニュース記事、紀行・単価・俳句など文芸作品まで網羅した多岐にわたる内容。
- ◎ 瀬戸内海の魅力を世界に向けて発信した雑誌であり、わが国のマスツーリズム黎明期の記録としても利用価値の高い資料。
- ◎ 台湾、朝鮮から北米、南米、アフリカ、ヨーロッパまで、世界中に張りめぐらされた海運会社のネットワークにより集められた、異国情緒たどよう高感度な海外情報が満載。
- ◎ 当時としては未知の大陸アフリカの情報を当時の日本人に紹介し、欧米にも日本紹介のきっかけをつくった最初期の活字メディア。
- ◎ 南米移民の話題も数多く掲載。国力の象徴としてのみならず、経済・文化外交の役割を担っていた「ぶらじる丸」ぶらぶらのすあいれす丸」など戦前の移民船について理解を深められる。
- ◎ 斬新でインパクトのある表紙デザインはカラー印刷により当時の色使いそのままに復刻。
- ◎ 第1回配本の別冊では専門家による解説を、第2回配本の別冊では総目次を収録する。今後、資料を活用するうえでの手引きとなる。



創刊号表紙



発刊の詞(創刊号)



「讀岐遊覧図繪」(第19号)



「ぶら志”丸船内めぐり」(第100号)



グラビア「大阪商船世界一周航路寄港地めぐり」(第91号)



「南米航路新造船 ぶえのすあいれす丸」(第21号)



「アフリカ航路の新設」(第7号)



芦田均「太平洋の現実」(第121号)



保田與重郎「沖繩の印象」(第106号)

伊東忠太「錫蘭島の太古蹟アマラダブラ」(第137号)



斬新でインパクトのある表紙デザイン

大阪商船について

『海』を発行した大阪商船株式会社は、1884(明治17)年5月に瀬戸内海航路を主として運航する60余りの船問屋を統合して操業した大手海運会社である。1909年に北米航路、1913年にインド航路、1926年にアフリカ航路を開き、その延長上に喜望峰回りの南米東岸航路を開設した。ブラジル行き移民最盛期の1933年には、瀬戸内海航路のほか、宮島遊覧船、沖縄航路、内台航路、朝鮮航路など日本沿岸航路10線、ボンベイ航路など東洋航路25線、サイパン航路など南洋航路4線、アフリカ航路、豪州航路、南米・世界一周航路など遠洋航路6線を運営、128隻52万200総トンの船舶を有し、ナショナル・フラッグ・キャリアであった三菱系の日本郵船と並ぶ世界有数の海運会社に成長した。

デザイン性の高い紙面レイアウトで、海事思想の普及を志した最初期の活字メディア